

計画策定における市民参加の取組

環境学習講座、環境フェスティバル、小学校出前授業など、様々な機会を捉えて、次期環境基本計画策定に関する意見交換やアンケート調査等を実施しました。

1	気候変動適応策講演会「気象キャスターに学ぶ 気候変動への適応」ワークショップ、アンケート	P. 2
2	環境配慮事業者連絡会	意見交換 P. 4
3	夏休み親子環境教室「エコを遊ぼう！発電体験と打ち水体験」	アンケート P. 6
4	自然観察会「夜の生き物ウォッチング」	アンケート P. 7
5	地球温暖化の意識啓発アニメ上映会「ガラスの地球を救え」	ワークショップ、アンケート P. 8
6	こだいら環境フェスティバル	アンケート P. 10
7	小平第六小学校 出前授業	アンケート P. 12
8	エコダイラネットワーク全体会	意見交換、アンケート P. 13
9	花小金井南中学校 生徒職場体験	ヒアリング、アンケート P. 15
10	環境学習講座「魔法のふろしき講座」	アンケート P. 17

令和元年6月25日(火)

## 気候変動適応策普及啓発講演会

### 「気象キャスターに学ぶ 気候変動への適応」

二酸化炭素排出量の削減に向け、厳しい対策をとったとしても、気温上昇は避けられないと言われています。そのため、これからは気温上昇によって発生する影響や被害を事前に予測し、適応していくことが重要となります。また、気候変動適応策は環境や防災、健康など複数の部署・分野にまたがる課題であるため部署の枠を超えた体制の構築が必要となります。

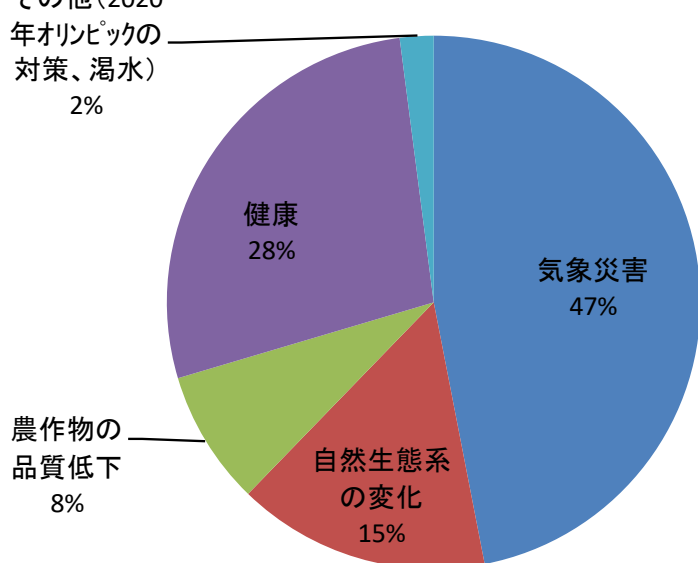
テレビで人気の気象キャスター 菊池 真以さん を招き、適応策という言葉をも身近に感じ、そして具体策を考えていただく機会を創出しました。講演会において、大雨対策・暑さ対策のワークショップと、気候変動への適応に関するアンケートを実施しました。

(参加者：71人 市民48人、市職員23人 アンケート回答者：65人)

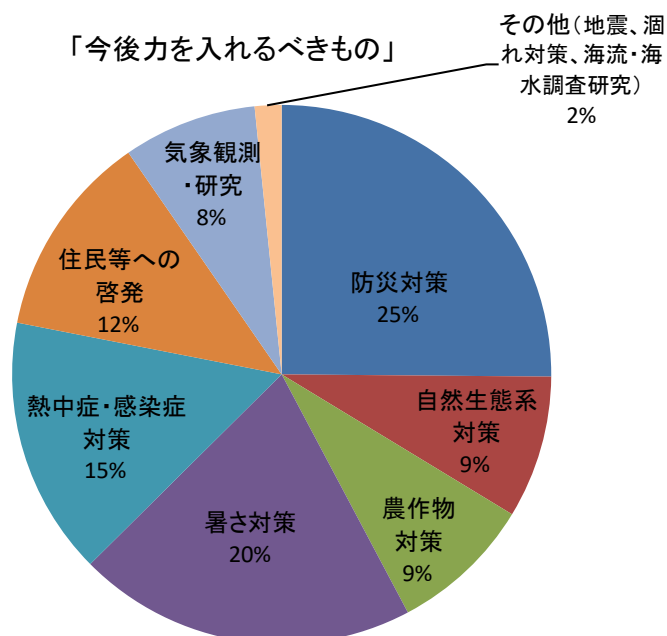


【講演会】

「気候変動の影響で関心のあるもの」



「今後力を入れるべきもの」



近年の気候について感じること

1	異常。季節感があまり感じられない。季節の区別がつかない傾向。
2	温暖化とその影響、対策。温暖化を避けるための技術、又は生活レベルをさげるかなど。
3	今まで経験したことのない異常気象が多くなっている。
4	高温多雨。ゲリラ豪雨。
5	北極、南極の氷山が崩れたりして大問題。
6	夏暑い。困る。PM2.5や黄砂、花粉などの大気汚染が心配。
7	変動が多く、今回は雨が多い場合で、逆の渇水の事も聞いたかった。
8	おかしい。確実に温暖化が進んでいる。止められるのか？
9	どんどん地球が変化。
10	例年より寒暖差が多い事。地球の様子が従来の四季とズレていると感じます。
11	大雨や暑さがひどい。この先、10年先とか世界的問題としてほしい。
12	気象災害が激甚化している。
13	暑すぎる。
14	激変。災害（雪、大雨）
15	これ以上暑くなると生活していけるのだろうか。防ぐために何をすればよいか。
16	四季が無くなってきている。
17	地球温暖化が進んでいるのかな。ゲリラ豪雨が多くなっている。
18	記録的な猛暑という言葉が毎年のように聞くようになったと感じます。
19	災害が多くなり環境問題に世界の権力者が気付いてほしい。手遅れにならないように。
20	激しくなった。雨、風、温度。温室効果ガスの影響があると思うが、何故そうなるのか。
21	気候が極端になっている。（雨の降り方、気温など）
22	大雨、台風の大型化。
23	異常気象の時代のはじまり。
24	温暖化、異常気象など自然環境の悪化を危惧している。
25	暑い日が多くエアコンを使う日が多い。大雨が突然降ることも多く、よく分からない気候です。
26	異常が異常ではなく、異常が普通になっている。
27	温暖化が進んでいるので環境変化が怖い。
28	去年の夏とても暑かったのが印象的。一年を通して雨が全然降らないようにも感じます。
29	極端な大雨、高温。
30	温暖化で気温が高いとのことだが、因果関係があるのか相関関係があるだけなのか気になる。
31	住宅が混みすぎている。
32	ゲリラ豪雨や高温など異常な気候が多い。
33	暑い日が多くなっている。
34	気温の上昇。
35	亜熱帯になったように思う。
36	とても暑い。とにかく暑い。亜熱帯化待ったなし・・・。
37	夏の暑さ、ゲリラ豪雨。
38	雨の降り方が多い。
39	温暖化現象。例えば稲作で以前新潟地方の適温が、近年北海道の気温になってきているなど。
40	気温の変化が早い。風が強く吹くことが多い→天気が変わりやすい→天候が予測しにくい
41	子供にどこまでエアコンを使うか悩む。快適過ぎる環境に慣れると使えない時弱くなるかも。
42	夏季のゲリラ豪雨が危険。
43	暑さ、大雨、台風の時期などは過去と比べ異常である。
44	ゲリラ豪雨。地球温暖化。
45	急激に悪化している。
46	地球温暖化による異常気象頻発、局地的集中豪雨、生物多様性の危機など、危機が迫っている。
47	暑すぎたり寒すぎたり、適度な気温の時期が少ない。
48	暑い日が多い。
49	温暖化の影響か、異常気象が増えている。
50	世界中の気候が変動しているので、日々の情報に気をつけようと思います。
51	とにかく暑い！
52	暑さ寒さが極端。季節の移り変わりが早い。お盆を過ぎると曇りがち、涼しくなるのが早い。
53	想定外が多い。

令和元年 7月 2日 (火)

## 環境配慮事業者連絡会

市内の事業者が環境に配慮した取組に関する相互の意見を交換し、省エネ対策による経費削減や温室効果ガスの削減を目指し、連絡会を開催しています。令和元年度第1回連絡会において、次期環境基本計画の策定について説明したうえで、各事業者の取組について、意見交換を行いました。

(出席事業者：9事業者)

### <意見交換>

#### 1 環境配慮の取組について

##### ◎株式会社小川工営

事業所の屋上に太陽光発電システム（市民共同発電所）の設置やアイドリングストップの励行をしている。

##### ◎小平商工会

特段の省エネ対策はしていないが、市が行う情報発信の協力は出来る（加盟している事業所は約1,800事業所）。

##### ◎学校法人白梅学園

照明器具のLED化を進めている。東京電力に協力いただき、各施設に個別メーターを設置し、使用状況を管理できるようにした。

##### ◎大東建興株式会社

社屋を一部リフォームした際に、太陽光発電システムやLED照明器具を導入した。

##### ◎東京むさし農業協同組合小平支店

クールビズの励行や空調の温度調整、残業の縮小による照明点灯時間の縮小を推進している。

##### ◎学校法人武蔵野美術大学

補助金の活用を検討しているが、夏休みしか工事出来ないことや単年度の補助金が多く活用に至っていない。また、学内の自動販売機の入替えは省エネ効果が高かった。

##### ◎有楽製菓株式会社

有楽製菓で一番大きい工場が豊橋夢工場になるので、そこを中心として、環境配慮への取組を行っている。具体的にはエコアクション21に沿うような取組に力を入れており、ゼロエミッション、食品リサイクルを推進する予定。

東京工場では遮光フィルムを張って空調の効率を上げることと、毎月、社員向けにイベントを行い、環境配慮への意識向上を図っている。

##### ◎ルネサスエレクトロニクス株式会社

東京都環境確保条例により、二酸化炭素の削減義務があり、排出量の削減への取組は徹底しており、効率的な運営を意識するとともに、空調機の手入れ、稼働時間の低いラインの稼働制限やLED化の推進をしている。

#### 2 気候変動の適応策について

##### ◎株式会社小川工営

エアコンの設定温度、こまめなフィルターの清掃をしている。

##### ◎小平商工会

クールビズや緑のカーテンの設置、無理のない範囲でエアコンの温度の設定に気をつ

けている。

◎大東建興株式会社

エアコンを古いものから新しいものに買い替えて性能があがった。エアコンの設定温度に気をつけている。

◎東京むさし農業協同組合小平支店

エアコンの設定温度、こまめにフィルターの清掃をしている。

◎学校法人武蔵野美術大学

太陽光発電システムについては、導入を考えたが、学内の建物については、美観を維持しなくてはならない建築物が多いため、導入には至らなかった。

また、ミストシャワーを取り付けたが、湿気により湿度が上がり、暑くなってしまったことがある。また、学内のエアコンについて、ネットワークを構築し、エアコンの制御が出来るようになった。

◎有楽製菓株式会社

空調のコントロールをしている。

◎ルネサスエレクトロニクス株式会社

クールビズの励行をしている。

### 3 生物多様性の取組について

◎株式会社小川工営

清掃組合として、玉川上水、野火止用水、狭山境緑道でガールスカウトと一緒にコゲラなどの鳥のために巣箱を何年か一度に設置・交換している。

◎大東建興株式会社

清掃組合として、小川工営さんと一緒に取り組んでいる。

◎東京むさし農業協同組合小平支店

ファーマーズマーケットの屋上庭園を開放しており、ちょっとした生き物の生息空間となっている。

◎学校法人武蔵野美術大学

周辺の生態系や学内の植生に配慮して、施設管理をしている。

◎ルネサスエレクトロニクス株式会社

事務所の前に林があり、生き物の生息空間となっている。また、下水道に流す排水についても配慮している。



【連絡会議】

令和元年7月23日(火)

## 夏休み親子環境教室

### 「エコを遊ぼう！発電体験と打ち水体験」

発電体験や打ち水体験を通して、エネルギーの大切さや夏の暑さへの対処法を知ること、気候変動への緩和策と適応策を身につけていただく環境教室を開催しました。参加した親子に小平市の環境に関するアンケートを実施しました。

(参加者：親子15組33人 子ども18人、大人15人 アンケート回答者：16人)



**夏休み親子環境教室**

# エコを遊ぼう！ 発電体験と打ち水体験

環境に優しいエネルギーってどんなもの？

みんなが使っている「電気」  
中でも環境に優しい発電方法「燃料電池」の実験をしよう！  
実験の後は、暑さを和らげる打ち水体験も！

**日時** 令和元年7月23日(火)  
午後2時30分～午後3時30分  
(休憩：午後2時から)

**体験時間** 午後3時30分～午後4時30分

**対象** 小平市内の小学生

**場所** 小平市役所6階大会議室

**参加費** 無料 定員：20組(先着)  
(小学3年生以下は原則、保護者同伴)

7月19日(金)までに下記連絡先へ  
電話又はメールにてお申し込みください

連絡先：小平市環境部環境政策課  
tel: 042-342-9538  
fax: 042-342-9643  
mail: kankyoseisaku@city.kodaira.lg.jp  
協力：東京ガス株式会社多摩支店



【発電体験】



【打ち水】

<アンケート>

#### 環境に関して気になることはなんですか？

ア 地球温暖化 (異常な暑さや大雨)	イ 電気やガスなどの節約(省エネ)	ウ 太陽光・風力などの自然エネルギー	エ ごみの処理や捨て方	オ 水やみどりなどの自然環境
7	7	7	4	3
カ 動物や昆虫などの生き物	キ 空気・水・土などの汚染	ク 騒音や悪臭などの生活環境	ケ その他	
3	6	1	—	

#### 小平市の環境で良いところは何か？

ア 道路などにゴミが捨てられていない	イ みどりや川(用水)などの豊かさ	ウ 動物や昆虫などたくさんの種類の生き物がいる	エ 空気がきれいである	オ その他
4	10	11	3	—

小平市の身近な環境で悪いと思うところがあれば、ご記入ください

- ・ごみ袋が高い。
- ・ごみの戸別回収が始まってからカラスが増えてしまった。



令和元年8月9日（金）

## 自然観察会「夜の生き物ウォッチング」

子どもたちに自然や生き物に触れてもらい、生物多様性の大切さを学んでいただく観察会を開催しました。参加した子どもに小平市の環境に関するアンケートを配布し、後日、郵送により提出してもらいました。

（参加者：20組48人 子ども28人、大人20人 アンケート回答者：5人）



【観察会】



【セミの幼虫】

＜アンケート＞

環境に関して気になることはなんですか？

ア 地球温暖化 （異常な暑さや 大雨）	イ 電気やガス などの節約（省 エネ）	ウ 太陽光・風 力などの自然エ ネルギー	エ ごみの処理 や捨て方	オ 水やみどり などの自然環境
3	—	1	2	2
カ 動物や昆虫 などの生き物	キ 空気・水・土 などの汚染	ク 騒音や悪臭 などの生活環境	ケ その他	
4	1	2	—	

小平市の環境で良いところは何ですか？

ア 道路などに ごみが捨てられ ていない	イ みどりや川 （用水）などの 豊かさ	ウ 動物や昆虫 などたくさんの 種類の生き物が いる	エ 空気がきれ いである	オ その他
2	4	3	—	—

小平市の身近な環境で悪いと思うところがあれば、ご記入ください

- ・一部の人のモラルがない。（歩きたばこ、ポイ捨て）
- ・春の花粉が良く飛ぶところ。

令和元年8月21日(水)

# 地球温暖化の意識啓発アニメ上映会 「ガラスの地球を救え」

小・中学生が地球温暖化について関心を持ち、日常生活の中で、自分にできる取組を考え、行動する意識を育むため、地球温暖化の意識啓発アニメの上映会を開催しました。上映後にワークショップを実施して、未来の環境のために何ができるか考えてもらいました。また、最後に小平市の環境に関するアンケートを実施しました。

(参加者：20人 小中学生12人、保護者・その他8人 アンケート回答者：12人)



【上映会】

<ワークショップ「みんなの未来を守るためにどんなことができるか考えよう！」>

テーマ	意見
1 電気やガスの使う量を減らすためにできることってなんだろう？	<ul style="list-style-type: none"> <li>部屋の電気を無駄にしない。</li> <li>こまめに電気のスイッチを消す。</li> <li>使わない電気を消す。</li> <li>使ったらすぐ消す。</li> <li>冷蔵庫を開けたらすぐ閉める。</li> <li>使わない時は消しておく。</li> <li>火を使って、使わなくなったらすぐ火を消す。</li> <li>冷蔵庫は開けて、出すものを出したらすぐ閉める。</li> <li>余分な電気を減らす。</li> </ul>
2 ごみを減らすためにできることってなんだろう？	<ul style="list-style-type: none"> <li>あんまりごみが出ないものを買ったりする。</li> <li>無駄使いをしない。</li> <li>無駄な物を買わない。</li> <li>ゴミをあまり出さないものを買ったりもらったりする。</li> <li>おさがりを使う。</li> </ul>
3 緑を守るためにできることってなんだろう？	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑の物を使う。</li> <li>植物を育てる。</li> <li>植物を増やす。</li> <li>自然を壊すことは自分たちを支配するのと同じだと考える。</li> <li>自然を大切にする。</li> <li>花に水をあげたり雑草をぬいたりする。</li> <li>ゴミが落ちてたらすぐ拾う。</li> <li>ポイ捨てをしない。</li> </ul>



<アンケート>

環境に関して気になること	地球温暖化（異常な暑さや大雨）	9
	電気やガスなどの節約（省エネ）	3
	太陽光・風力などの自然エネルギー	3
	ごみの処理や捨て方	3
	水やみどりなどの自然環境	4
	動物や昆虫などの生き物	3
	空気・水・土などの汚染	4
	環境美化（ポイ捨てなど）	2
	騒音や悪臭などの生活環境	1
	その他	0
小平市の環境で良いところ	道路などにごみが捨てられていない	5
	みどりや川（用水）などの豊かさ	6
	動物や昆虫などたくさんの種類の生き物がいる	5
	空気がきれいである	5
	その他	0
小平市の環境で悪いところ	道路などにごみが捨てられている	6
	みどりや川（用水）などが少ない	1
	動物や昆虫などの生き物が見られない	1
	空気がきたない	1
	その他	0



【発表の様子】

# 令和元年9月7日（土） 環境フェスティバル

市民・事業者・市民団体・市が一体となって、環境について楽しみながら理解を深めるためのイベントとして実施しています。環境ポスターの展示、エコドライブシミュレーター体験、間伐材を活用したコースターづくり、ねずみ・害虫相談会、打ち水体験、電気自動車・燃料電池自動車の展示など、様々な環境に関する普及啓発のブース、会場を設けています。

今年度は、次期環境基本計画策定にあたり意見を伺うため、環境政策課ブースにおいて、アンケートシート（A2版）を貼り出し、来場者にシールを貼って回答してもらいました。（回答者：190人以上）

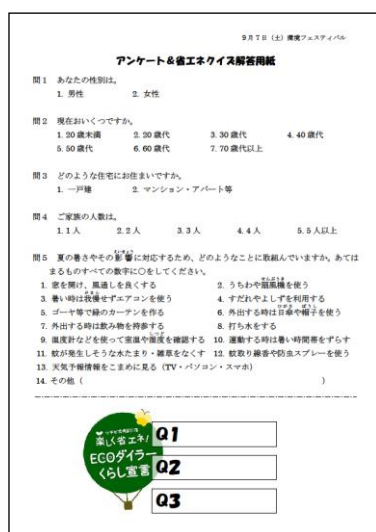


【アンケートシート】



【シールを貼る様子】

また、市との協働により省エネ等の普及啓発に取り組んでいる市民団体エコダイラネットワークのブースでは、省エネクイズの用紙に、夏の暑さやその影響に対する取組についてのアンケートを加え、クイズ参加者に回答してもらいました。（回答者：250人）



【クイズ&アンケート用紙】



【回答の様子】

<アンケートシート>

(1) 環境問題についてあなたが気になること

	小学生・中学生	高校生～20歳未満	20～40歳代	50歳代以上
地球温暖化(異常な暑さや大雨)	23	1	3	54
電気やガスなどの節約(省エネ)	10	2	19	22
太陽光や風力などの自然エネルギー	6	1	10	29
ごみの処理や捨て方	14	1	21	50
水や緑の自然環境	10	2	19	33
動物や昆虫などの生き物	22	0	8	19
空気・水・土などの汚染	11	0	12	33
環境美化(ポイ捨てなど)	14	0	15	24
騒音や悪臭などの生活環境	6	1	9	21
その他(ムスカ(ごみを食べるハエの幼虫)、プラゴミの無料化、玉川上水の木の伐採)	3	1	3	3

(2) 小平市の環境で良いと思うところ

すべての世代で「みどりや川(用水)などの豊かさ」を最も良いと感じている。

(3) 小平市の環境で悪いと思うところ

すべての世代で「道路などにごみが捨てられている」を最も悪いと感じている。

(4) 市はどんなことに取り組むべきか

- ・ 20歳未満…「ごみの減量化、リサイクルの推進」、「農地の保全」の順
- ・ 20～40歳代…「ごみの減量化、リサイクルの推進」、「用水路などの水辺環境の整備」の順
- ・ 50歳代以上…「ごみの減量化、リサイクルの推進」、「雑木林などの緑地保全対策」の順

(5) 環境について学びたいと思うか

すべての世代のほとんどの方が「学びたい」と思っている。

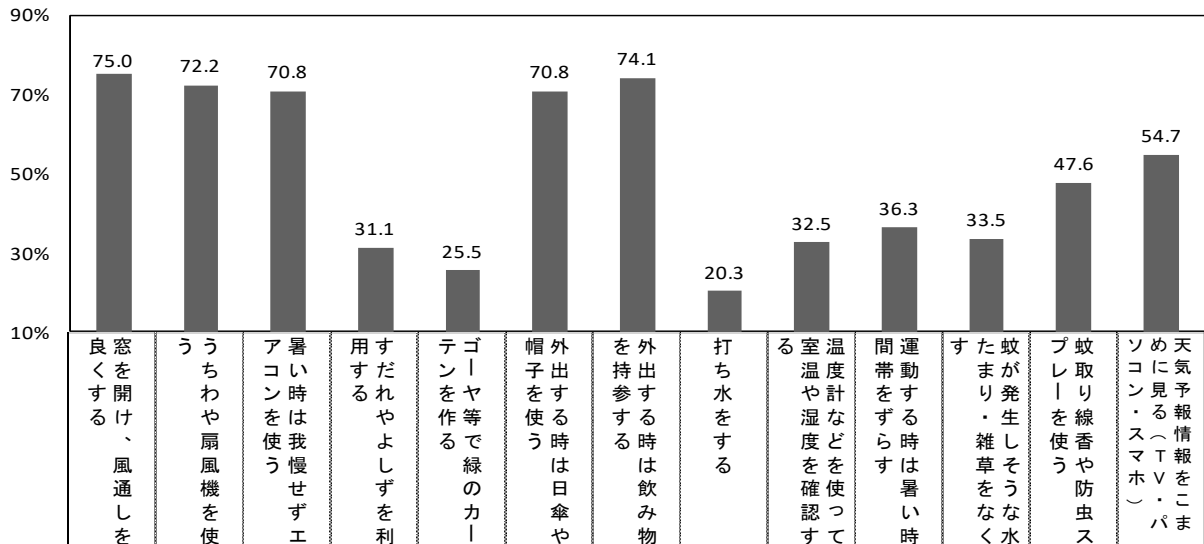
↓

「学びたい」を選んだ方で、どのようなことを知りたいか。

- ・ 20歳未満…「ごみ問題」、「水、空気、土壌汚染」の順
- ・ 20～40歳代…「気候変動による影響」、「水、空気、土壌汚染」の順
- ・ 50歳代以上…「気候変動による影響」、「ごみ問題」の順

<夏の暑さ対策アンケート>

夏の暑さやその影響に対応するため、どのようなことに取り組んでいますか。



令和元年10月2日(水)

## 小平第六小学校 出前授業

環境意識を高め、自ら「地球にやさしい行動」ができる児童の育成を目的として、市では出前授業を実施しています。令和元年度は、小平第六小学校の5年生を対象に、工学院大学、市民団体エコダイラネットワークの協力を得て、リサイクルセンターで実施しました。参加した児童に小平市の環境に関するアンケートを配布し、後日、提出してもらいました。(参加者：105人 アンケート回答者：22人)



【太陽光発電パネルの見学】



【市民版環境配慮指針の説明】

<アンケート>

環境に関して気になることはなんですか？

ア 地球温暖化 (異常な暑さや大雨)	イ 電気やガスなどの節約(省エネ)	ウ 太陽光・風力などの自然エネルギー	エ ごみの処理や捨て方	オ 水やみどりなどの自然環境
20	13	13	12	10
カ 動物や昆虫などの生き物	キ 空気・水・土などの汚染	ク 騒音や悪臭などの生活環境	ケ その他	その他…酸性雨、エコ活動
8	11	10	2	

小平市の環境で良いところは何ですか？

ア 道路などにゴミが捨てられていない	イ みどりや川(用水)などの豊かさ	ウ 動物や昆虫などたくさんの種類の生き物がいる	エ 空気がきれいである	オ その他
5	18	14	13	—

小平市の環境で悪いところは何ですか？

ア 道路などにゴミが捨てられている	イ みどりや川(用水)などが少ない	ウ 動物や昆虫などの生き物が見られない	エ 空気がきたない	オ その他
16	2	2	2	—

その他意見があれば、ご記入ください

- ・これからは電気を大切にして地球温暖化を止めたい。



令和元年10月11日（金）

## エコダイラネットワーク全体会

市民団体エコダイラネットワークは、平成14（2002）年に小平の環境、ひいては地球環境を良くしていきたいという思いで、「市民版環境配慮指針」を作成するために、公募で集まった市民が中心になって立ち上げた団体です。

市民版環境配慮指針にもとづいて、市との協働により、環境家計簿の取組や、環境学習の企画運営、市主催の環境イベントへの出展、小学校出前授業の実施など、さまざまな実践活動を行っています。

令和元年10月11日（金）に開催された全体会において、次期環境基本計画の策定にあたって意見を伺うとともに、アンケートを実施しました。

（会議出席者：6人 アンケート回答者：7人）



【イベントでの普及啓発】



【市民版環境配慮指針】

### <主な意見>

#### 1 小平市の環境における課題について

- ・環境問題は、人間活動や産業活動に伴い起こる様々な変化や生物・生態系に及ぼす影響など、幅広い分野での理解が不可欠である。
- ・一人ひとりが環境問題に関心を持つよう、行政と市民の協働で継続的な取組が重要である。
- ・日本人の生活レベルは、地球環境に負荷を掛けている訳なので、豊かさを見つめ直し、あらゆる生活の分野において、生活様式（文化）を変えなければならない。
- ・今後は、市民・行政・企業の3者の連携が今まで以上に必要になってくるため、市内に事業所を置く企業とどのように環境に関して連携していくかが重要な視点になる。
- ・シェアリングエコノミーの考えを日常生活の中に取り入れていく事が重要である。
- ・気候変動の悪影響は、近い将来の話ではなく、既に我々人間社会に降りかかっていると考えて、今後の様々な備えをするべきである。
- ・熱中症対策にしても、高齢者福祉、健康、住宅等に地球温暖化を絡め連携して対応することができれば、より効果的な施策ができるかもしれない。
- ・正しい危機意識を実感してもらい、想定外を極力減らすための情報を市民に届ける工夫・仕組みができると良い。

## 2 より良い環境づくりを推進するために、市民団体と市民、市の効果的な連携について

- ・市民に環境問題をもっとPRして、無関心層に目を向けさせる必要がある。  
(例：環境問題のポスターを作成し、駅や図書館、公民館などへの掲示)
- ・企画に応募して優れたものを採用するコンペ方式など、住民の発想と行動力を引き出す連携の仕方もある。
- ・市民が何に対して問題意識を持っているか知るために、環境団体や個人が持っている各種の観測結果・データを集計することが重要である。
- ・環境に係わる市民団体やNPO 法人等との連絡と活動内容の把握をして、課題毎にサポートを受ける仕組みができると良い。この仕組みの中にシニア世代の市民を巻き込むことができれば、その経験や知識により、レベルアップすることも可能である。
- ・市民団体には、自治会のような環境には直接関係ない団体もあるが、出来るだけそのような団体との連携を図ることが肝要である。
- ・市内の団体がどのようなことに取り組んでいるか知る機会がほとんどないため、各種団体の取組を一堂に会して発表する機会を設けてはどうか。
- ・環境問題の範囲は非常に広く、一般市民はどのような取組をしてよいか分かりづらいため、アンケートで挙げられた一番多い課題を更に掘り下げて、具体的なテーマをあげて市民に参加してもらえるようにしてはどうか。

## 3 より良い環境づくりにあたり、エコダイラネットワークが取り組む活動について

- ・エコダイラネットワークへの参加を呼びかけること自体が、環境問題のPRにつながる。
- ・従来から実施している環境学習を全小学校に広げる。子どもが環境問題に関心を持てば親も変わる。
- ・環境家計簿の実施世帯の増加、環境学習、講演会の実施、小学生と親を対象とした環境イベントの開催、SNSでの情報発信など
- ・エコダイラネットワークの“エコ”は現在省エネのエコに重点を置いている。これを広義のエコロジーと考え守備範囲を広げるのはどうか。
- ・活動の幅を広げるならば他の団体との連携を進める方法が良い。
- ・常時若しくは定期的に啓発活動のための場所が確保され、その運営にエコダイラネットワークが関わると良い。エコダイラネットワークだけでなく、市と協働しているNPO 法人等の啓発の場としても利用してもらおう。運営主体として協議会のような組織を作るのも良い。
- ・市内には沢山の団体があるので、エコダイラネットワークは市民生活に最も重要な電気エネルギー関連に特化した活動でよいのではないか。これからは市や市民が使う電気の素性を環境に良い方向に舵を切るべきではないか。
- ・3R運動が市民にとって具体的に取り組みやすいのではないか。



令和元年11月28日(木)

## 花小金井南中学校 生徒職場体験

花小金井南中学校の2学年生徒4名が、11月26日(火)から11月29日(金)までの4日間、ふれあい下水道館で職場体験をしました。この機会を捉えて、学校での環境に関する取組や小平市の環境についてどう思うかなど、生徒から意見を伺いました。(参加者4名)

<主な意見>

### 1 学校で環境について学んでいること

- ・地理(日本の環境、公害)、理科(発電、エネルギー)で学んでいる。

### 2 学校で取り組んでいること

- ・美化委員を中心に落ち葉掃きや花植えをしている。
- ・教室移動時の消灯は日直が担当している。
- ・エアコンやストーブの使用による温度管理は、先生や保健委員が担当している。

### 3 家や自分で取り組んでいること

- ・昼はカーテンを開け、照明を使用しないようにしている。
- ・照明やエアコンのスイッチを頻繁に入り切りしない。

### 4 小平市の環境についてどう思うか

- ・地域センターのグリーンカーテンや植林など、緑が多い。
- ・有料化によってごみのポイ捨てが減ったが、有料袋でないものも見受けられる。
- ・カラスがごみを荒らしている。
- ・たばこの吸い殻やごみのポイ捨てが多い。
- ・公園に自転車が放置されている。

### 5 小平市の環境についてどうなってほしいか

- ・たばこやごみのポイ捨てを減らしたい。
- ・身体を動かせて、自然を感じられる大きな公園がほしい。

### 6 実現するために何をすべきか

- ・携帯灰皿を配布する。
- ・歩きスマホを止めさせる。
- ・狭い歩道の改善、整備をする。

### 7 その他(自由意見)

- ・生物多様性という言葉は聞いたことがない。
- ・地産地消のイメージは野菜くらい。
- ・謎解きができるイベントがあれば参加してみたい。



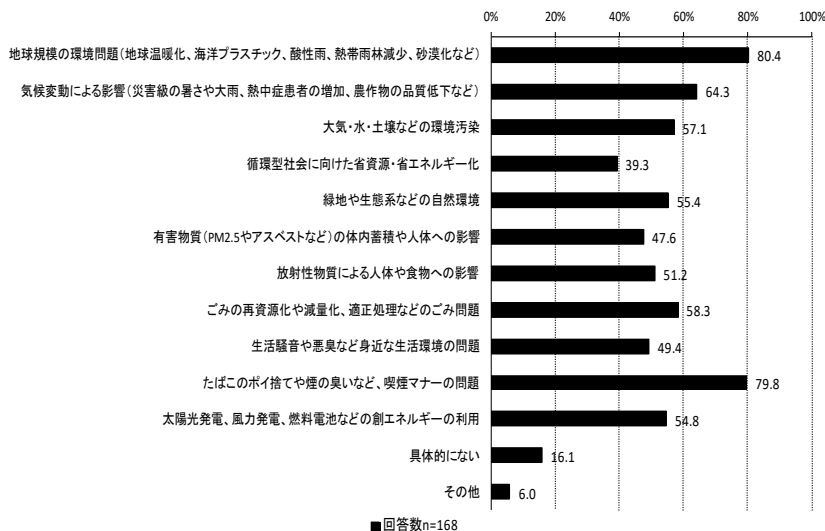
【ヒアリングの様子】

また、この職場体験に先立ち、花小金井南中学校の2学年生徒全員にアンケート調査を行いました。(アンケート回答者：168名)

<アンケート結果の概要>

(1) 環境に関して知っていること、気になっていること

「地球規模の環境問題（地球温暖化、海洋プラスチック、酸性雨、熱帯雨林減少、砂漠化など）」への関心が最も多く、次いで「たばこのポイ捨てや煙の臭いなど、喫煙マナーの問題」が多い。



(2) 小平市の環境の良いところ

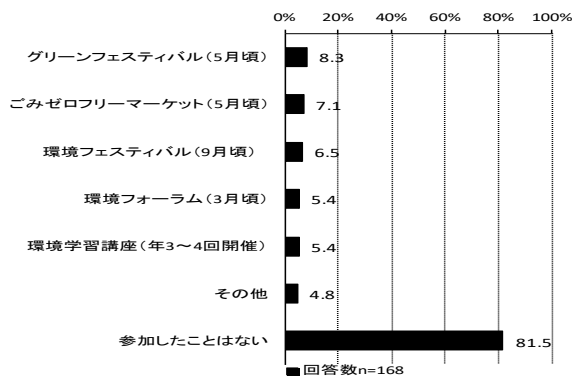
「災害に強い」に関連する意見が最も多く、次いで「緑・自然が多い」が多い。

(3) 小平市の環境の悪いところ

「たばこのポイ捨て」関連の意見が最も多く、次いで「遊ぶ場所が無い、少ない」が多い。

(4) 参加したことがある市内の環境関連イベント

「参加したことはない」が最も多い。

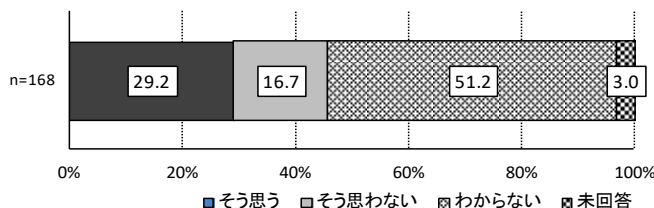


(5) 参加したくなる出し物やイベント

「有名人企画（トークショー、ゴミ拾い、サイン会等）」が最も多い。

(6) 小平市に住み続けたいか

「わからない」が最も多く、次いで「そう思う」が多い。



(7) 小平市に取り組んでほしいこと

「ねずみや害虫、ハチ、カラスなどの対策」が最も多く、次いで「公園・緑地の整備、緑化の対策」が多い。「自動車やバイク、工事現場、近隣などの騒音や振動、排気ガス対策」を望む声も比較的多い傾向にある。

(8) より良い環境のために、自分にできること

「ポイ捨てをしない」、「ごみを大量に出さない」など、手軽に取り組める行動の記述が多い。中には、「省エネ活動」や「地域のボランティア」に参加するといった意識の高い記述も見受けられた。

令和元年11月23日(土)

# 環境学習講座「魔法のふろしき講座」

風呂敷の活用方法を学び、今あるものを生かして、無理なく、無駄のない暮らしを実践することで地球温暖化対策への関心へ繋げる環境学習講座を開催しました。参加者に小平市の環境に関するアンケートを実施しました。

(参加者：34人 アンケート回答者：33人)



【講座の様子】

## <アンケート>

市が優先的に取り組むべき課題	1. 騒音、振動、排気ガス対策	8
	2. 悪臭、大気汚染などの公害問題	2
	3. ゴミ減量化、リサイクル推進	9
	4. 省エネ取り組み推進	4
	5. 地球温暖化対策の推進	9
	6. 用水路など水辺環境整備	3
	7. 農地の保全	4
	8. 雑木林の緑地保全対策	5
	9. 公園、緑地整備、緑化推進	5
	10. 環境美化(清掃、美化活動)推進	4
	11. 道路・交通対策整備	7
	12. 浸水被害軽減、下水道雨水整備	4
	13. 環境学習(.講演会、講座)の充実	2
	14. 情報提供の充実(市報、広報誌など)	4
	15. 幼少期からの環境教育の実施	11
	16. 在来種の保全、対策	3
	17. ねずみ、害虫、ハチ、カラス対策	4
	18. 特になし	-
	19. その他(五日市街道の自転車道整備)	1